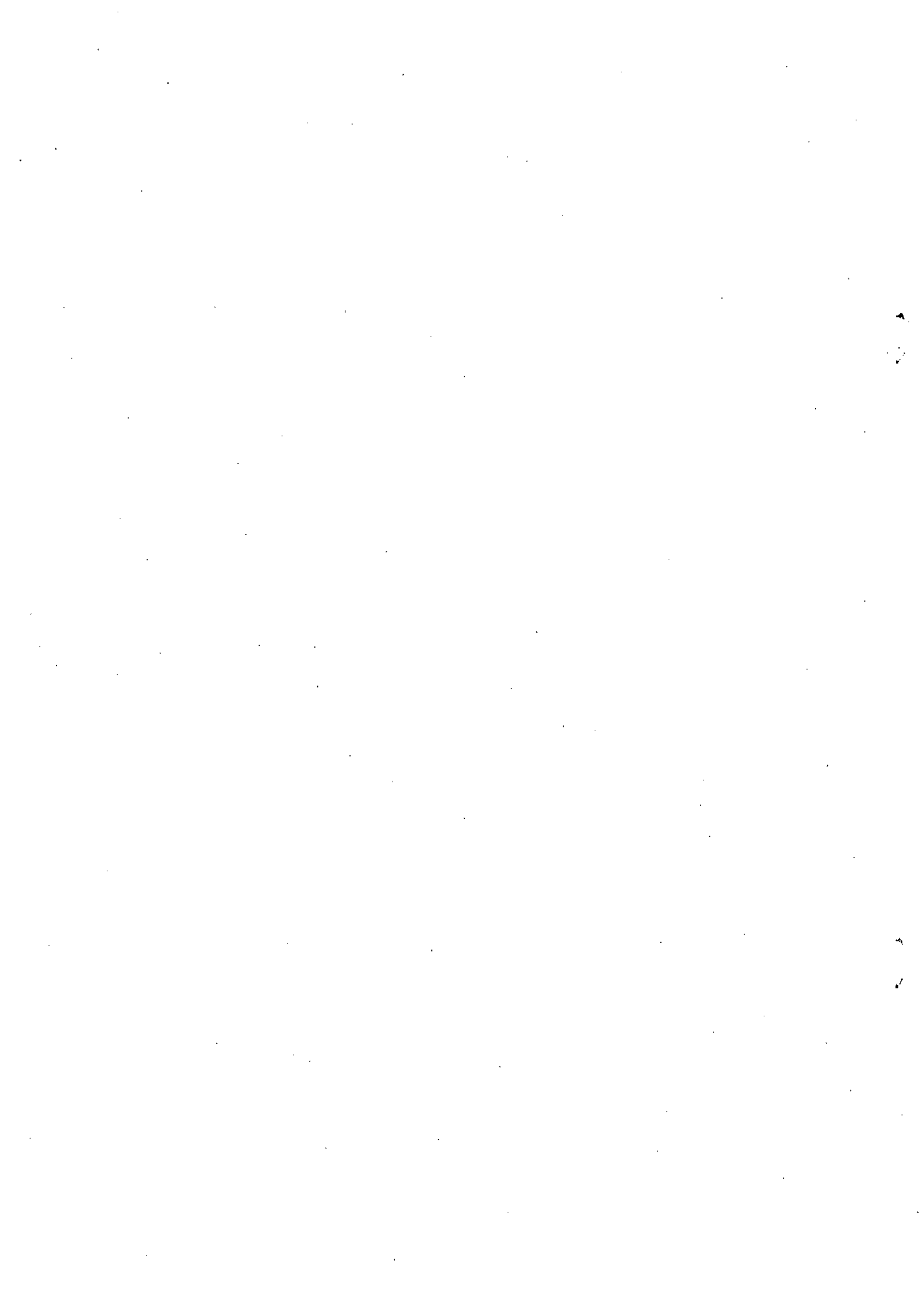


# 農林水産商工常任委員会提出資料

(平成28年10月7日)

項目	ページ
1 平成28年台風第18号による被害状況等について 【とっとり農業戦略課】 .....	別紙
2 主要農産物の生産販売状況について 【生産振興課】 .....	1
3 鳥取県林業安全大会の開催について 【林政企画課】 .....	2
4 民間事業者による大規模沖合養殖システムの実証試験について 【水産課】 .....	3
5 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】 .....	4

農 林 水 産 部



# 主要農産物の生産販売状況について

平成28年10月7日  
生産振興課

## 1. 水稲

### (1) 作柄概況

田植期以降の高温で幼穂形成期が早まった影響で、分けつ発生期間が短くなり穂数はやや少なかった。  
7月中旬の高温・多照により1穂当たり粒数はやや多くなったが、全粒数はやや少ない。出穂後の天候が良好であったことから、登熟はやや良と見込まれ、9月15日現在の作況指数は102(やや良)と見込まれている(中国四国農政局公表)。 ※登熟: 籾の充実具合

(単位: kg/10a)

区 分	ふるい目 1.7mm	農家等が使用しているふるい目		
	予想収量	予想収量	平年収量	作況指数 (作柄)
鳥 取 県	523	513	504	102 (やや良)
中国地区	528	518	506	102 (やや良)
全 国	545	531	517	103 (やや良)

※農林水産省の公表内容に変更があり、作況指数は農家等が使用しているふるい目のみで公表。  
ふるい目は地域によって異なり、1.75～1.85mm(鳥取県、中国地区は1.80mm)。

### (2) 収穫・品質検査成績の概況

ア 9月中旬の降雨により、収穫作業の遅れが見られるが、早生品種のコシヒカリ、ひとめばれでは収穫量への影響は限定的である。中生品種のきぬむすめは、平坦地の一部では9月末から収穫が始まり、10月上・中旬が収穫最盛期の見込みである。

イ 9月30日現在の水稲うるち玄米の1等米比率(JA聞き取り)は5割程度で、同時期の27年産米よりもやや良いが、検査進度は全体の1割強で、今後大きく変動する可能性がある。

2等以下の格付の主な要因としては、形質不良、整粒不足があげられる(当課調べ)。

## 2 梨

### (1) 二十世紀梨(露地)の販売状況

8月23日から始まった二十世紀梨の販売は9月16日で概ね終了した。前年に多かった過熟果の発生は少なく、赤秀率も44%(前年33%)と高かった。盆後から市場への果実入荷量が増加し、販売環境は非常に厳しい状況であったが、8月中は活発な貿易需要に支えられて販売単価は前年並みで推移した。9月に入ってから、食味が非常によかったこと、試食宣伝販売を数多く実施したことなどにより、販売単価は大きく下落すること無く、平均311円/kg(前年307円/kg)で終了した。

二十世紀梨の輸出は、台湾などの消費最盛期となる中秋節が9月15日(前年9月27日)と早く、前年に比べて円高基調にあったこともあり輸出量の減少が懸念されたが、9月7日時点で38,474ケース(前年38,680ケース)と、ほぼ前年並みの量が輸出された。

区 分	数量 (t)	単価 (kg/円)	販売額 (百万円)
H28	5,082	311	1,580
H27	5,409	307	1,660
前年対比(%)	94	101	95

※全農ととりまとめ(H28の数値は、9月30日時点の市場販売分の集計)

### (2) 「新甘泉」の販売状況

8月22日から販売が始まり、市場出荷分の暫定集計では、販売数量が390t(前年213t)と大幅に増加した。赤秀・青秀は糖度基準を13度以上としているが、本年は糖度が高く、基準に満たない果実は4%(前年15%)と、非常に食味がよかった。平均単価は457円/kg(前年460円/kg)であり、近年は高値で安定して販売されている。

区 分	数量 (t)	単価 (kg/円)	販売額 (百万円)
H28	390	457	178.1
H27	213	460	97.9
前年対比(%)	183	99	182

※全農ととりまとめ(H28の数値は、9月30日時点の市場販売分の集計)

# 鳥取県林業安全大会の開催について

平成28年10月7日  
林政企画課

鳥取県では、林業事業体経営者をはじめ全ての林業関係者の安全意識向上を図り、林業従事者が安全で安心して働くことができる労働環境を実現するため、鳥取労働局、鳥取県林業災害防止連絡協議会と共同で、下記のとおり鳥取県林業安全大会を開催します。

## 記

### 1 日時

平成28年10月26日（水）午後1時30分から3時30分まで

### 2 場所

倉吉未来中心 小ホール（倉吉市駄経寺町212-5）

### 3 開催主体

主催 鳥取労働局、鳥取県林業災害防止連絡協議会、鳥取県

共催 林業・木材製造業労働災害防止協会鳥取県支部、鳥取県森林組合連合会、  
（公財）鳥取県林業担い手育成財団

### 4 開催概要

#### （1）開会

#### （2）報告事項

林業労働災害の発生状況と安全作業への提案

#### （3）事例紹介

県内事業体の取組状況

#### （4）基調講演

「とされいほくの経営安定化への取り組み」

講師 （株）とされいほく 代表取締役副社長 半田州甫（はんだ くにお）氏

#### （5）閉会

### 5 参集範囲

- ・林業事業体（経営者・労働担当者・作業班長・班員等）
- ・木材製造業等
- ・林業関係団体・林業行政機関関係者等

約300名

### 6 その他

チェーンソー防護衣ほか安全装備品の展示等を実施

# 民間事業者による大規模沖合養殖システムの実証試験について

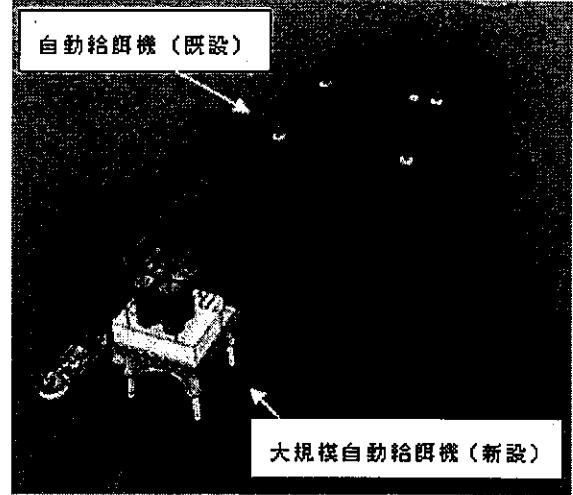
平成28年10月7日  
水産振興局水産課

弓ヶ浜水産(株)と新日鉄住金エンジニアリング(株)は、美保湾でのギンザケ養殖に  
関し、次により大規模自動給餌システムの実証試験を行うこととなりました。

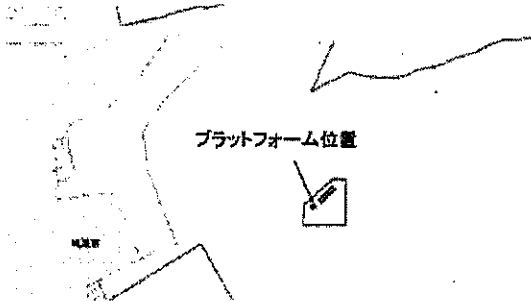
【給餌システムのイメージ】

## 1 実証試験の概要

弓ヶ浜水産の既設の給餌機に餌を補充するための機器(大規模自動給餌機)を新日鉄住金エンジニアリングが制作・設置し、その実用性や効果を検証する。



- (1) 実験場所  
美保湾  
(ギンザケ養殖の区画漁業権設定区域内)



【プラットフォームと島根半島】



- (2) 特徴
- 世界最大規模の自動給餌システム
  - 実用化されれば、本県のような海面養殖の適地がほとんどない地域においても大規模海面養殖の新たな可能性を見いだす画期的な試験

## (3) スケジュール

H28. 7月中旬~8月中旬	大規模自動給餌機制作・設置
H28. 8月中旬~10月	大規模自動給餌機試運転
H28. 11月~H29. 9月頃	実証試験実施→「使えない」と判断した場合は撤去 「使える」場合は残置

## 2 県の対応状況

実証試験にあたっての漁協等関係機関との調整を支援する。  
今後、種苗の成育が順調に行くよう技術支援を行う。

## 3 参考/会社概要

(1) 会社名：弓ヶ浜水産株式会社 (2) 所在地：鳥取県境港市竹内団地205 (3) 代表者：鶴岡比呂志 (つるおかひろし) (4) 資本金：125百万円 (5) 従業員数：88名 (6) 事業内容：ギンザケその他魚類の養殖、水産物加工及び販売 (7) 設立：平成25年12月16日	(1) 会社名：新日鉄住金エンジニアリング株式会社 (2) 所在地：東京都品川区大崎1-5-1大崎センタービル (3) 代表者：藤原真一 (ふじわらしんいち) (4) 資本金：150億円 (5) 従業員数：単独1,235人、連結4,954人 (6) 事業内容：製鉄プラント、環境ソリューション、エネルギーソリューション、 海洋、建築・鋼構造 (7) 設立：平成18年7月1日
--	--

平成28年10月7日  
農地・水保全課

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	天神野池地区地域ため池(池ノ谷ため池)改修工事	倉吉市 鞆河内	福井土建株式会社 代表取締役 福井 重秋	103,248,000円 (設計額 112,182,600円)  落札率 92.06%	平成28年9月23日 ～ 平成29年5月8日	平成28年9月23日	<p>【工事内容】 ため池改修工事 寝床工 地盤・堤体改良 V=4,829m<sup>3</sup> 法面保護工 A=1,380m<sup>2</sup> 網式石盛土 V=529m<sup>3</sup> 舗装工、水路工等1式 水質工1式、工専用道路1式</p> <p>付帯工 仮設工</p>	制限付 一般競争入札 9社 平成28年9月9日 開札

【当初契約】